

様

説明日 年 月 日

担当薬剤師

## ★治療について

レジメン名	1コースの期間	診療科	適応疾患	コース数	コース開始日
DRd28	28日間	内科	多発性骨髄腫	コース目	

## ★治療スケジュール

以下の治療スケジュールで行います。症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

投与順	投与経路	薬品名	投与量 投与時間	実際の 投与量	実施日							
					1	2~7	8	9~14	15	16~21	22	23~28
1	点滴 静注	ダラザレックス 生理食塩液 500mL	1~2コース 16mg/kg	mg	●		●		●		●	
			3~6コース 16mg/kg		●			●				
			7コース~ 16mg/kg		●							
	内服	レブラミド カプセル	25mg/日 1日1回	mg/日 1回 カプセル	21日間毎日服用							
	内服	レナデックス錠	40mg/日 1日1回	mg/日 1回 錠	●		●		●		●	

【副作用軽減のために使用するお薬】

レスタミン5錠、アセトアミノフェン0.5g: インフュージョン・リアクション予防のため、ダラザレックス開始1時間前に服用します。

## ★注意事項など

この用紙は、かかりつけ医や保険調剤薬局の薬剤師へご提示ください。

## ★保険調剤薬局薬剤師の方へ

服薬状況や副作用等報告事項がありましたら、「患者情報連絡書」にて報告をお願いします。

「患者情報連絡書」: 碧南市民病院HP→部門紹介→薬剤部→薬薬連携に掲載

FAX(地域連携室): 0566-46-3774

【緊急時連絡先】碧南市民病院 薬剤部 TEL: 0566-48-5050(代表)

## DRd28の副作用について

### ★起こりやすい副作用と発現時期の目安

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。また、発現時期には個人差があります。

副作用	発現時期(日)																							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23日目以降	
白血球減少																								
貧血																								
血小板減少																								
悪心・嘔吐・食欲不振																								
下痢																								
倦怠感																								
発疹																								
インフュージョン・リアクション																								

### ★起こりやすい副作用と対策

#### 〈血液検査からわかる副作用〉

#### ● 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

#### ● 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

#### ● 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、菌肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

#### 〈ご自分でわかる副作用〉

#### ● 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

#### ● 下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よならない場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりとりましょう。

#### ● 倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

- 発疹、かゆみ

- インフュージョン・リアクション

初回の点滴時にもっともおこりやすい症状です。点滴中に『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

- レナデックス(飲み薬)による作用

胃が重くすっきりしなかったり(胃炎)、眠れなかったり(不眠)、血糖が高くなる(高血糖)などの症状が現れることがあります。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談下さい。

### ★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「激しい足の痛み」、「しびれ」、「急激な足のむくみ」(深部静脈血栓症)
- ★「突然の息切れ」「胸の痛み」「血痰」(肺塞栓症)
- ★「全身のむくみ」「尿が出ない」(腫瘍崩壊症候群、重篤な腎障害、末梢性浮腫)
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。碧南市民病院 (代表)0566-48-5050